

令和6年度 桜町小学校 学校評価

アンケート実施日 令和6年11月

アンケート実施者

児童 323名

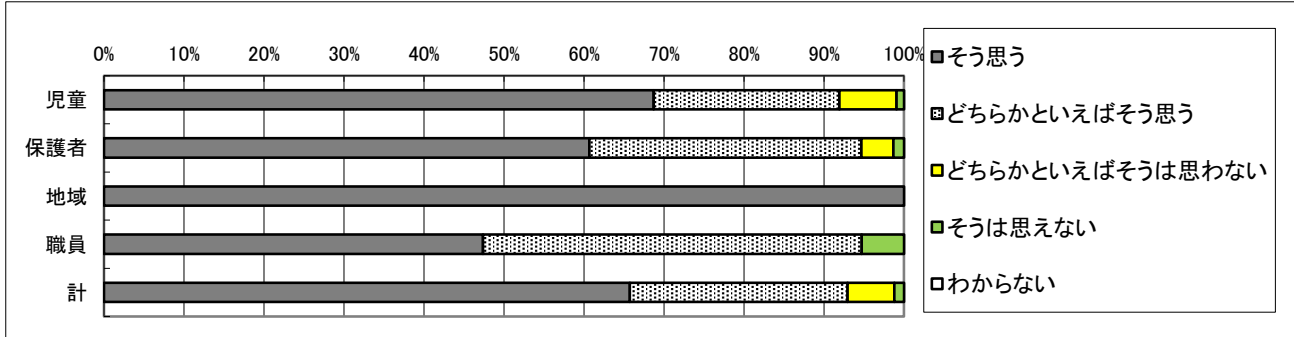
※未回収+判断できない=原則「わからない」で集計

保護者 150家庭

※地域=区役員・民生委員・児童クラブ・保育園

地域 4名 (回収したもので集計)

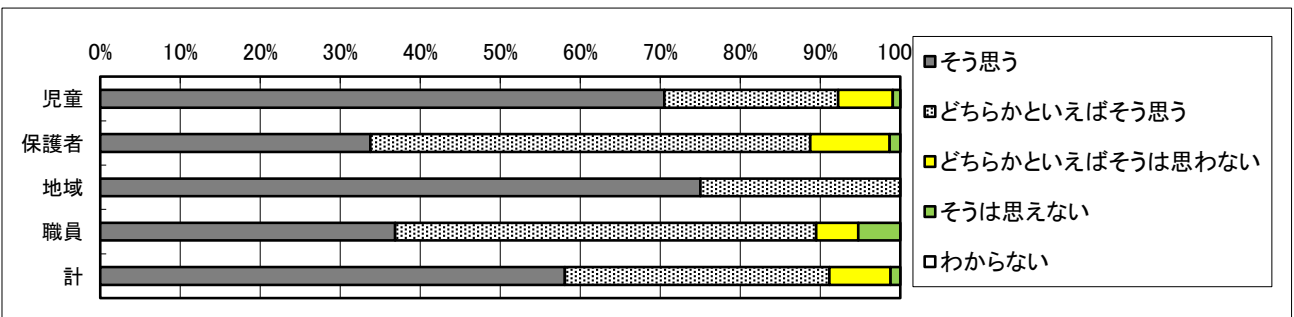
1 入学して（入学させて）よい学校か、通わせるのによいと思われる学校か。



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的に回答した割合は、児童・保護者・地域・職員4者とも高い。これまでの傾向を見ても、大きな変化は見られず安定している。今後とも保護者や地域の皆様との連携を密にし、児童の健全育成に取り組んでいきたい。

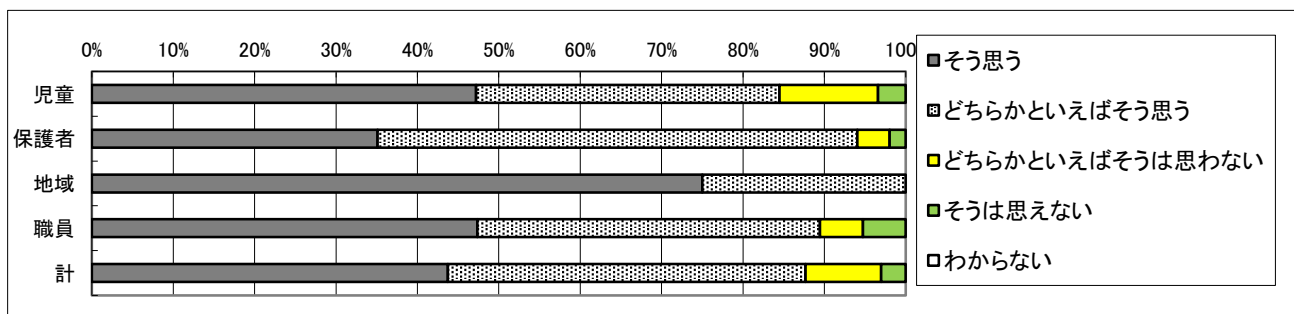
2 ためになる授業、好きな授業がたくさんあったか。（児童）

学校は、学力を伸ばし、かしこくはぐくんでいるか。（保護者・地域・職員）



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的に回答した割合は、児童・保護者・地域・職員4者とも高い。これまでの傾向を見ると、大きな変化は見られないが、やや減少している。コロナ禍を終えて、働き方改革を考えながら教育活動に取り組んできた。今年度は新たな取り組みを行ってきた。今後もより良い活動を模索する中、「自ら学びを楽しむ子」の育成につとめ、その成果を家庭に伝えていきたい。

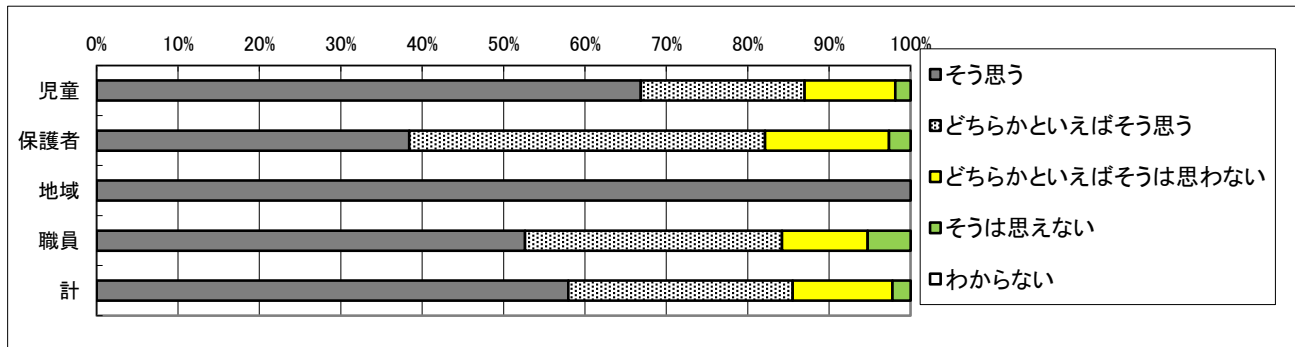
3 児童がやさしく・たくましく育っているか。学校は、はぐくんでいるか。



2の設問同様、学校教育目標「やさしく、かしこく、たくましく」に関する項目である。全体的にみれば、昨年度よりやや減少しているものの、同程度の結果を残している。日々の生活で外で元気よく遊ぶ姿が見られたり、学習の中で話し合い活動を積極的に取り入れたりしている。児童が達成感を十分に感じられるように活動の工夫を今後も考えていきたい。

4 わくわくしたり「よかった」と思えることがある学校か。(児童)

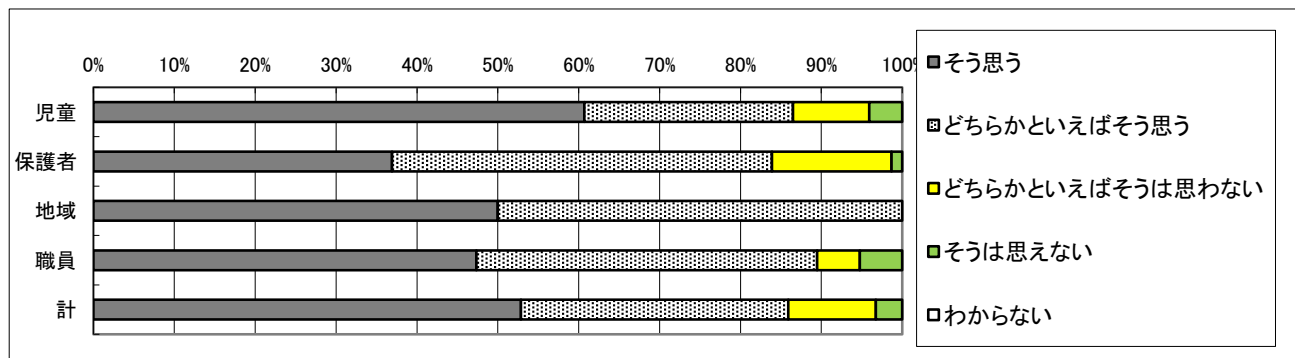
学校は、夢中になれる活動や情操を豊かにする機会を大切にしているか。(保護者・地域・職員)



この項目については、児童・保護者・職員とも肯定的な解答が減少している。人との関わりをもつような活動を積極的に取り入れてきた。学習や学校行事をはじめ、学校内外で活発に行うように心がけてきてはいたが、活動内容を検討しながら児童が意欲的に取り組めるように考えていく必要がある。

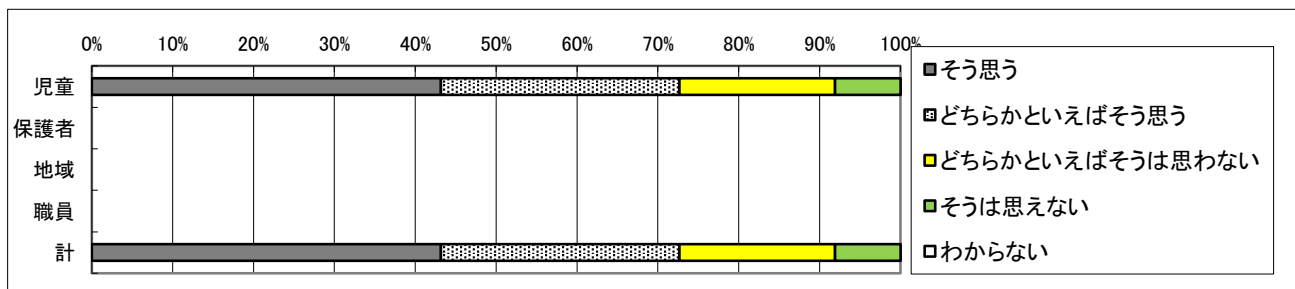
5 先生はあなたのことをよくわかってきているか。先生の指導がわかるか。

教員は児童に応じて適切な願いをもって指導に当たっているか。(保護者・地域・職員)



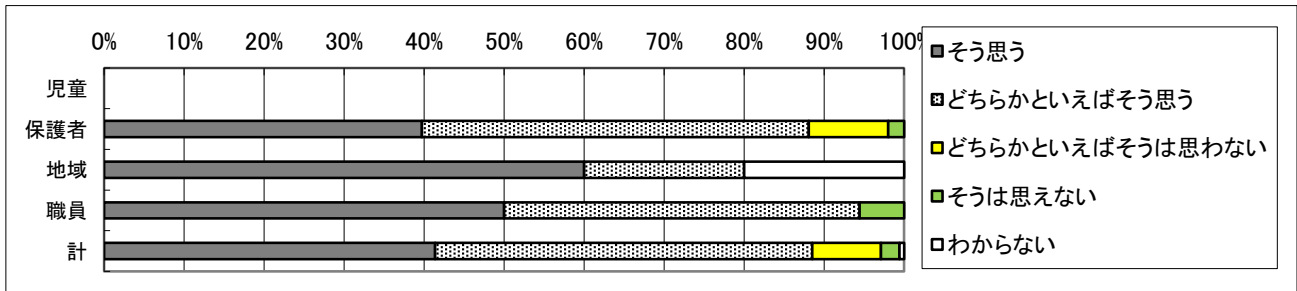
肯定的な回答がやや減少している。学校では、児童の活動の様子を日ごろから、よく見て指導や支援をしている。また、生活アンケートや教育相談の時間を設けて対応している。気になる児童の様子については職員間で共通理解を図って対応している。児童の様子や児童への願いを家庭に伝える努力を怠らないように、常に反省し改善する姿勢をもちたい。

6A 困ったことを先生に相談できますか。(児童)



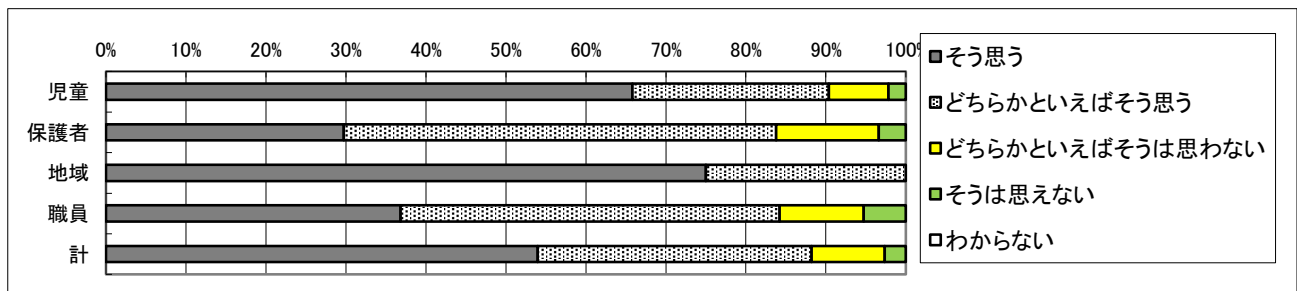
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」との回答は、昨年度より増加した。「そうは思わない」と答える児童がいることについては反省し、担任のみならず、どんな職員にも相談ができるようにし、謙虚に耳を傾けることのできる職員集団でありたい。

6B 学校はわかりやすい授業になるように努めていると思うか（保護者・地域）
わかりやすい授業になるように努めているか（職員）



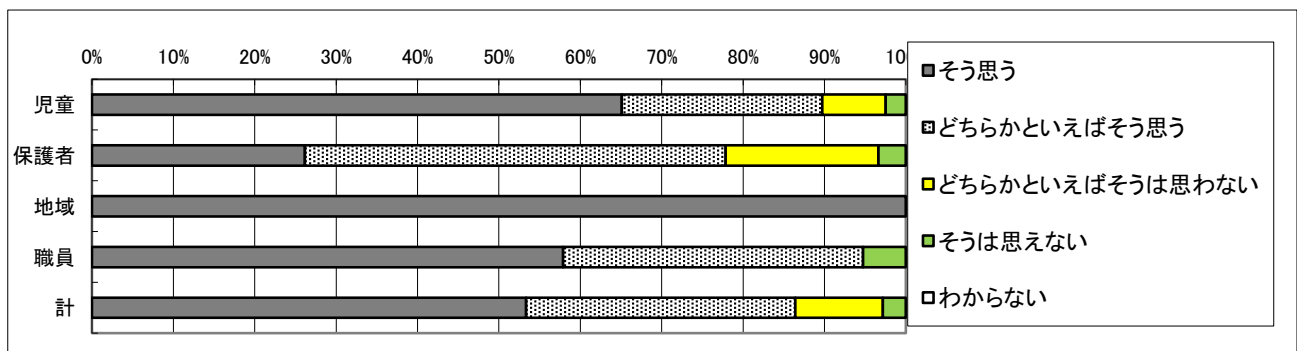
昨年度より肯定的な回答が減少している。より良い学習が進められるように現職研修に力をいれて、授業の改善に努めている。今後も「自ら学びを楽しむ子」の育成に努め、その成果を家庭に伝えていきたい。

7 先生は家庭や地域の方と力を合わせてがんばっているか。（児童）
PTAや地域の諸機関との情報の共有や連携を適切にしているか。（保護者・地域・職員）



肯定的回答の割合は、昨年度よりやや増加している。PTA実行委員会、学校運営協議会（支援の会）、児童民生委員情報交換会などで、学校の様子や課題について情報を共有したり相談したりしている。学校行事をはじめ、地域の方を講師にした出前講座や三世代交流会を行うことができた。今後も地域とのかかわりを継続して取り組んでいきたい。

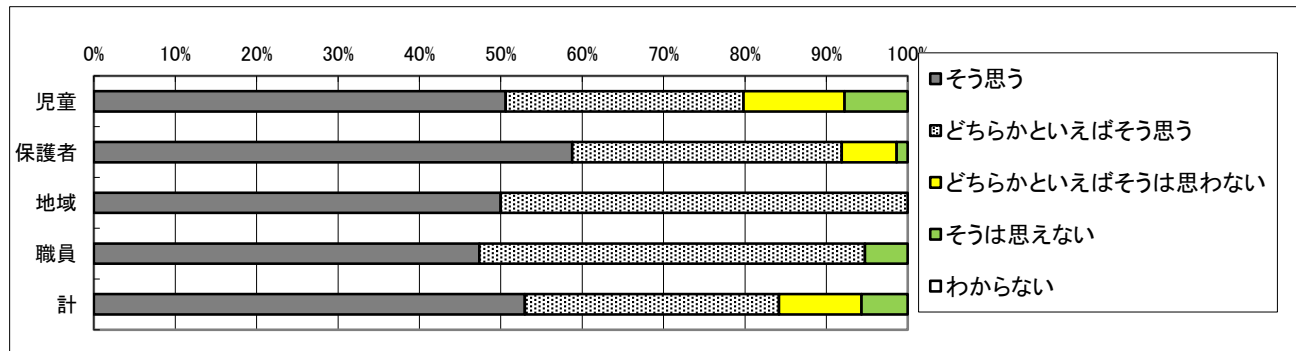
8 学校や先生は、あなたたちの意見や希望を聞いてくれるか。
学校は、子どもや保護者、地域の意見を聞き、その声を学校運営に反映しているか。



肯定的な回答は昨年度と同程度となっている。今後も学校での活動の様子を伝える努力をしながら、児童や保護者、地域の声に耳を傾け、広く意見を求めていきたい。

9 学校へ来るのがたのしいか。(児童)

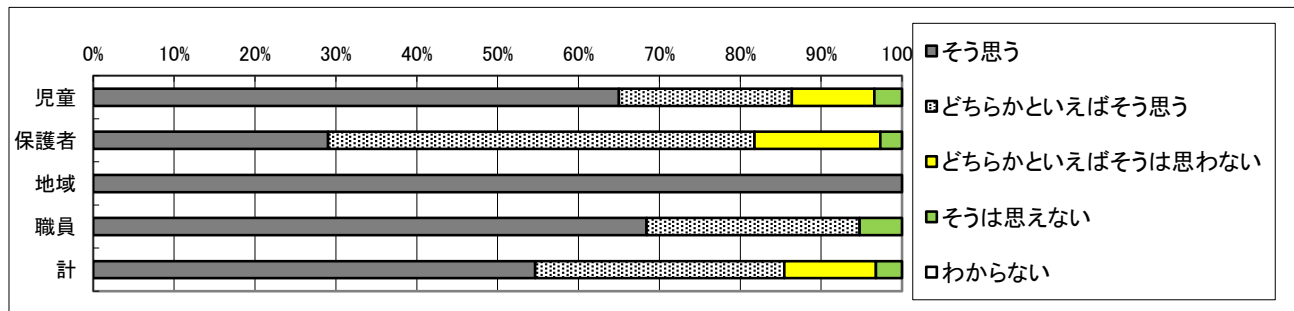
子供たちは楽しく、充実した学校生活を送っていると思うか。(保護者・地域・職員)



肯定的回答の割合は、全体で見るとやや減少している。否定的回答をしている児童、保護者が昨年と変化していないことを考慮し、児童の様子をよく観察し、どの子も前向きに学校生活を送れるように支援する必要がある。

10 学校や先生は「いじめ」がないか、あななたちを見守っているか。(児童)

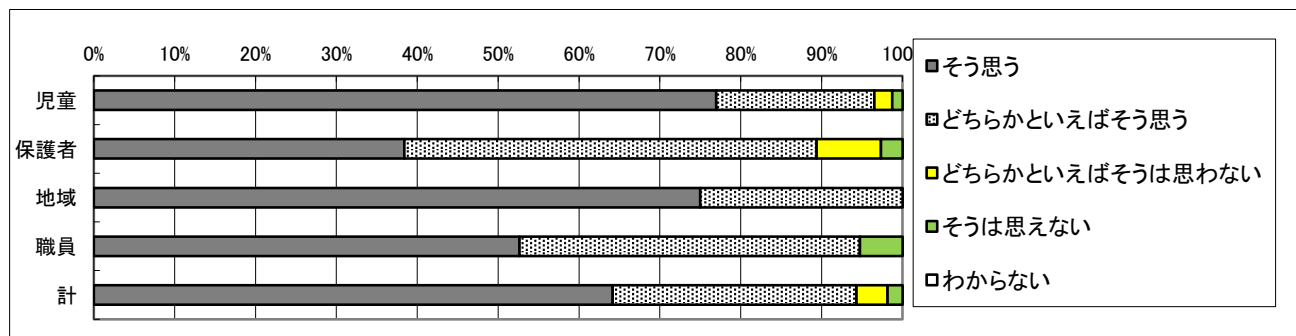
学校はいじめ対策や対応をしていると思うか。(保護者・地域・職員)



児童の肯定的な回答は今年度減少している。集団生活をしている以上トラブルはつきものであるが、いじめに発展しないように「どの学校でも発生するもの」との認識をもって対応にあたらなければならない。いじめに関する出前講座を継続して行っている。トラブルが発生したときには、4役を含む関係する職員と連携を図って対応をしている。きちんと状況を把握し、家庭への連絡を密にしていきたい。

11 学校や先生は、あなたたちを災害や危険なことから守り安全な生活ができるように気をつけているか。(児童)

学校は防災や防犯、子供たちの安全を確保することに関して、対応や対策をしているか。(保護者・地域・職員)



今年度も全体的に高い評価を得ることができた。災害や防犯における訓練を学校行事に取り入れて取り組んできた。不審者対応の避難訓練は児童の精神的負担を考え、職員による訓練を行った。随時、危機管理マニュアルを見直すとともに、児童の安全教育に関しては、保護者や地域からの意見を取り入れて、今後も不備な点があれば改善をしていきたい。